

「海フェスタしずおか」出展レポート

令和元年 8 月

「海フェスタ」は、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識するための行事として、広く海に親しむことを目的に、毎年、全国の主な港湾都市で開催されてきました。

本年は、7月13日（土）から8月4日（日）の期間、静岡県静岡市で開催され、海や港に関するセミナー及び船の一般公開など様々なイベントが行われました。当連合会は、清水水先人会及び一般財団法人海技振興センターと合同で、清水マリビルで開催された「海の総合展」に出展し、操船シミュレータによる体験操船、PR映像「この船の安全は私が守る あなたは海のパイロットを知っていますか？」の上映、並びにパンフレットや記念品等の配布を行い、水先人及び水先業務に関する情報発信を行いました。

「海の総合展」の展示スペースには延べ2,570人の皆様に立ち寄りいただき、清水港をモデルとした操船シミュレータの体験や水先業務に関するPR映像（実写版とアニメ版）を視聴していただきました。

来場された皆様からは、操船の面白さ、若い三級水先人や女性水先人の存在、水先人への興味、水先業務の重要性などの感想が寄せられ、水先人やその業務について理解が得られたのではないかと考えております。

